

令和3年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

大いなる大地からのメッセージを胸に、未来に誇れる酪農業を！

○氏名又は名称 須藤 陽子

○所在地 千葉県館山市

○出品財 女性の活躍

○受賞理由

・地域の概要

館山市は、房総半島の南端に位置し、温暖な気候と風光明媚な自然景観を有している。狭い土地を高度に活用し、ストック等の花き、食用なばな等の野菜、びわ等の果樹など、多様な特色ある農業が展開されている。また古くから酪農業が盛んな地域でもある。東京湾アクアラインや東関東自動車道の開通により多くの観光客が訪れ、いちご狩りや花摘みなどの観光農業も展開されている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

須藤氏は、夫とともにフリーストール牛舎を建築し、飼養管理技術の向上に努め、飼養頭数規模を拡大してきた。命と食の大切さを伝える牧場ならではの酪農体験や、自社の高品質な牛乳に付加価値を付けたアイスクリーム、生シェイクの販売等、カフェの展開等、須藤氏親子の独自の感性を活かした経営の多角化を進めている。

・受賞者の特色

(1) 酪農教育ファーム

結婚を機に就農した須藤氏は、小学校教師時代に感じた「生き抜く力」を伝えたいという思いから、酪農体験の受入事業を開始した。平成9年に地域交流牧場全国連絡会の発起人を務め、平成13年には酪農教育ファームに認定され、ピーク時は年間90回以上の体験教室を開催し、国内外から年間1,800人が同教室に参加している。現在は後継者と共に、積極的に6次産業化や事業拡大を図っている。

(2) 女性の活躍

須藤氏は、女性のキャリア育成について熱心に取り組み、後継者や社員に対して個々の能力がいかされるように役割を明確にし、自信をもって取り組めるまで指導してきた。また、女性も快適に作業できるよう環境整備に取り組んでいる。さらに、須藤氏は、県指導農業士として、地域の女性農業者の育成にも尽力している。

・普及性と今後の発展方向

須藤氏は、今後の5年間は後継者に法人を継承する期間ととらえており、生乳の生産や酪農体験、乳製品加工、販売の各事業が相互に連携して、家族や社員全員の総合力によって未来に誇れる牧場にしていきたいと話す。農業の多面的機能を活かし、生乳生産だけでなく、加工・販売や酪農体験など多角的事業を展開する須藤牧場の取り組みは、全国で活動する牧場経営のモデルとなっている。